

みずほCustomer Desk Report 2023/06/20号 (As of 2023/06/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	142.00
TKY 9:00AM	141.86	1.0941	155.19	GBP/USD	1.2831
SYD-NY High	142.00	1.0946	155.35	AUD/USD	0.6872
SYD-NY Low	141.45	1.0908	154.65		
NY 5:00 PM	141.99	1.0921	155.08		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	-	-	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.3900%	▲0.0100%
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	33,370.42	▲ 335.66	米国5年債	-	-
TOPIX	2,290.50	▲ 9.86	米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	-	-	独10年債	2.5150%	0.0560%
ロンドンFT	7,588.48	▲ 54.24	英10年債	4.4865%	0.0810%
DAX	16,201.20	▲ 156.43	豪10年債	3.9950%	▲0.0140%
ハンセン指数	19,912.89	▲ 127.48	USDJPY 1M Vol	9.07%	0.32%
上海総合	3,255.81	▲ 17.53	USDJPY 3M Vol	9.31%	0.23%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	9.60%	0.24%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	▲0.62%	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	8.79%	0.17%
ドルインデックス	102.52	0.28	EURJPY 6M Vol	9.20%	0.20%

【昨日の指標等】

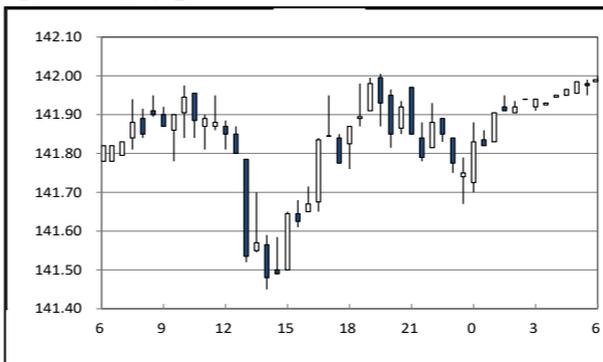
Date	Time	Event	結果	予想

【本日の予定】

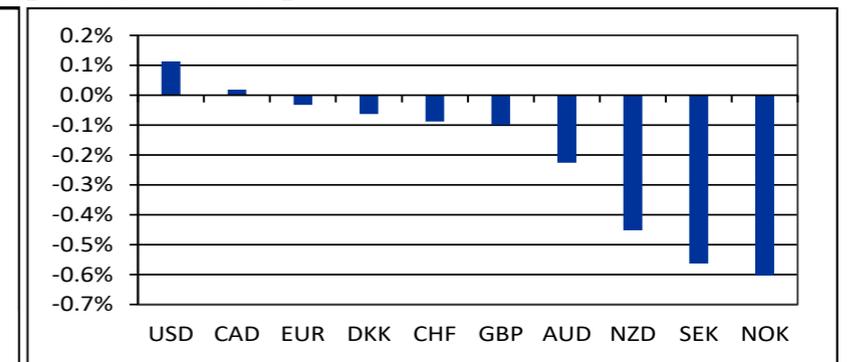
Date	Time	Event	予想	前回
6月20日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -	-0.4%/-0.3%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	5月 -0.7%/1.7%	0.3%/4.1%
	21:30	米 住宅着工件数	5月 1400k	1401k
	21:30	米 建設許可件数	5月 1425k	1417k

東京	週明けの東京市場は141.86レベルでオープン。公示仲値通過直後につけた141.97が東京時間の高値となり、142円台に失敗となると一旦141.80レベルまで緩む。11時半にかけて再度上値トライも高値更新とはならず。午後に入り、日本株が大幅安となるとドル/円も売り優勢で東京時間安値となる141.45まで下落。ただ、同水準では買いも入り、141.63レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.63レベルでオープン。米休場で特段の材料がない中、142.00円まで底堅く推移し、結局141.84レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	休場

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.50-142.50	1.0850-1.1000	154.00-156.00

【マーケット・インプレッション】

週明け昨日のドル円相場は、東京時間に141.45まで下落するも海外時間かけて141円後半まで切り返すと、米国休日につき動意に欠ける中で142.00を挟んで小幅レンジでの推移となった。先週末に141.91まで上昇し約7か月ぶり円安・ドル高水準をつけていたドル円は、東京時間早々に141.97まで上昇したものの、その後142円乗せに失敗したとみるやその後は利益確定の売りが優勢となり141円半ばまで下落する格好となった。欧州勢参入後は軟調な欧州株や独金利の低下を受けて対ユーロでドルが買い戻される動きや、中国習主席と米ブリンケン長官の会談で進展がみられたとするポジティブヘッドラインを横目にドル円も上昇し一時142円台を示現。但し、142円ちょうど近辺での売り意欲も相応でその後は142円ちょうどを挟んで売り買い交錯。米国休日の中、次第に方向感をなくす展開となった。本日は、中国の最優遇貸出金利(LPR)の発表を予定し、金利引き下げが見込まれている。ゼロコロナ策解除後の経済回復が想定よりも振るわない中、景気刺激期待からリスクオンに傾倒しやすく、また対人民元でのドル買いの動きもドル円サポート材料となり得る。その他連休明けの米国では、住宅関連指標の発表を予定し、インフレ先行きを占う上で注目しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・田川